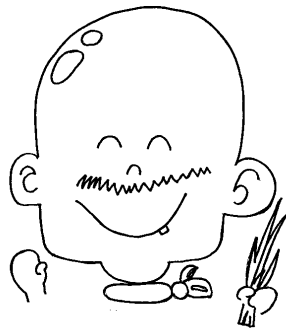


農大同窓会報

いあいさつ



会長 柴田隆夫

（フリーズ）

7月11日、東京での会議。当日の気温34℃。今年の夏からすれば驚くほどではないのですが、体感的には経験したことがない程の暑さを感じました。都会の暑さは「別物」と思ったしだいです。

7月23日には、熊谷市で41.1℃を記録！ヒヤ、どんな世界なんでしょ？

世界ではもつとスゴイ事が起きていました。オランダの高速道路でアスファルトが溶け出し一時閉鎖。ノルウェーの北極圏で33℃を記録。アメリカのデスバレーでは52℃。

一方台風の進路が従来と異なってきた。日本付近に近づいても前程には勢力が落ちないなども気になります。

7月28～29日にかけてこの地域を襲った12号台風も、太平洋沿岸をかすめ紀伊半島に上陸。

発行所
愛知県立農業大学校同窓会
岡崎市美合町字並松1-2
電話(0564)51-1601
編集発行人
同窓会長 柴田隆夫
印刷所 (南)イヅミ印刷所
電話(0564)21-2657

東から西へ進むという観測史上初の事でした。

農業にも大きな被害が出ました。ハウスの倒壊や収穫間近の果実の落果。我が家でも育苗ハウスの側面のフィルムが飛ばされ、倉庫の屋根が飛ばされました。(トホホ)

さて災害に対するインフラ整備は、引き続き必要でしょうが、私達自身ができる事もたくさんありそうです。

我が家では真夏にキャベツの播種を行うのですが、冷涼な気候を好むキャベツにとって猛暑はネックになります。平均気温が35℃を超えると2%にまで発芽率が下がるといふものもありました。そこで発芽用の保冷庫(30㎡程の広さ)を業者に依頼したところ470万円也！(デロゲロ)しかたなく自作することに。(室内外機のみ購入)90万前後で済みました。(ヤッター！)

畑の排水対策も重要です。激しい降雨で排水口付近の土まで流されがち。そこで活躍するの

が土囊。この土入れ作業が1人ではやりにくい。そこで土入れ用折りたたみスタンドを自作しました。これで、小型油圧シヨベルを使って土入れ。(オー、楽ちん)土木工学の基礎くらいは農家の基礎知識として必要です。農大のカリキュラムにも、



いあいさつ

校長 三浦貞志

同窓会の皆様方には、益々御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃から、柴田隆夫会長を始め、同窓会の役員、理事並びに会員の皆様方には、本校の円滑な運営に格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、農大では平成29年度卒業式を3月8日(木)に執り行い、農学科102名と研究科6名が新たな進路に進みました。

農学科卒業生102名中、39名が就職(後継者就農と農業法人への雇用就農)し、就職前提示の一時就職や海外研修が10名、進学が4名、そしてJA等への就職が43名でした。研究科の最後の卒業生となった6名は、2名が就職、JA等への就職が3

現場で役立つ実践の智慧、身につけて欲しいですね。
変化の激しい時代となっておりますが、変化に対応できた者だけが生き残るといふ生存競争の法則は不変です。次代にも繋げられる生き方を模索したいものです。

名でした。本県農業の担い手として、また、農業を支える人材として、卒業生の今後の活躍を大いに期待しています。同窓生の皆様には、これら卒業生へのあたたかい御指導と御支援をお願いいたします。

なお、研究科の廃止を間近に控えた3月21日(水・祝)には、大村愛知県知事を迎えて、研究部同窓会による記念式典が盛大に開催されました。本報には、当日の長尾元校長(研究部開設時は副校長)による御祝辞も掲載されていますが、50名を超える多くの同窓生と元職員が、ともに過ごした学舎に思いを馳せて旧交を温める良い式典を開催していただきました。ありがとうございました。

また、4月12日(木)には平成30年度入学式を挙行いたしました。過去最高の131名が受験した30年度入学試験の合格者から95名の新1年生が入学式に臨みました。当日は天候に恵まれ、校内の木々の若葉がそよぐ中、新入生と多くの保護者をお迎えすることができました。新入生にとつて緊張の中にも晴れやかで思い出に残る入学式になったのではないかと思います。

95名の新入生が加わり、新2年生と合わせて教育部農学科在籍者は190名となりました。和耕寮も新1年生を迎え、フレッシュで活気に満ちた農大生活が始まっています。

さて、近年は地震や局地的豪雨、さらに火山の爆発といった天災が増えてきたような気がいたします。本年も6月に大阪北部地震、7月上旬には西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」があり、さらに同月下旬には前代未聞の西寄りの進路をとった台風12号が上陸し、これらにより各地で大きな被害が発生しました。農大におきましても、台風12号により果樹園の梨が落果するなどの被害がありました。が、被災された皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また、7月9日の梅雨明け

以降は大変な猛暑が続き、7月23日には校内にあるアメダスで39.3℃と過去最高の気温を記録しました。同窓生の皆様方におかれましても、この猛暑への対応には御苦労されたことと存じますが、本校でも、緑の学園研修に参加した高校生が熱中症でリタイヤしたり、ほ場実習で気分が悪くなる事例が散発し、作物や家畜の暑熱対策も欠かすことができませんでした。こうした猛暑は地球温暖化の現れの一つと思いますが、農大におきましても農業生産面はもとより教室や体育館の冷房化などの必要性を痛感させられたところです。

なお、9月4日(火)には非常に強い勢力を持った台風21号が上陸し、高潮による関西国際空港の浸水や強風による建物倒壊など各地に大きな被害をもたらす。その余波もさめやらぬ9月6日(木)には震度7という激震が北海道で発生し、北海道全域が停電となるブラックアウトという事態となるなど、引き続き大きな災害が発生しています。

台風21号では、農大でも大きな被害が発生しました。当日は午後3時に周辺地域とともに停電し、午後6時30分頃通電しましたが、電気系統が別の農場側では復旧が深夜となり、搾乳し

た生乳は廃棄せざるを得ませんでした。また、強風により、露地野菜専攻の育苗ハウスが倒壊するとともに、果樹専攻のブドウハウスのビニール被覆の損壊、教室棟の側面ドアの脱落破損など多くの被害が発生しました。復旧に向け、本庁に予算面の配慮を強く訴えているところです。

さて、近年、本県の新規就農青年数は増加傾向にあり、29年度は274名でした(県農業経営課調べ)。そのうち本校卒業生の占める割合は、全体数の増加に伴い低下傾向にありますが、それでも2割程度を占めており、本県農業を支える優秀な人材の養成を行う本校の使命は益々重要なものと考えています。この使命を遂行するため、常に教育現場重視の視点で創意工夫や改善を図りながら、教育内容の一層の充実や円滑な学校運営に努めてまいりますので、同窓会の皆様にも一層の御支援をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様の更なる御活躍と御繁栄を心から御祈念申し上げます。あいなさつといたします。

◆◆平成二十九年度理事会だより◆◆

平成30年2月6日(火)午前10時30分から、平成30年度農業大学校同窓会理事會が農業大学校中央教育棟研修室において開催されました。

柴田会長、三浦校長のあいさつの後、柴田会長を議長に選出して議事が進められました。

第一号議案 平成29年度事業報告については、同窓会報の発行、役員会・理事会の開催、卒業生への記念品贈呈などについて報告があり、異議なく承認されました。

続いて、第二号議案 平成29年度会計決算報告、第三号議案 平成30年度事業計画、第四号議案 平成30年度会計予算の各議案について説明の後、異議なく承認されました。

続いて、第五号議案 役員の見直しについて、現在の役員を引き続き選出するとの原案どおりに承認されました。

最後に、同窓会員の表彰について説明があり、長きにわたって同窓会理事・同窓会副会長を務められるとともに、第12回アグリアウォードの「農業・農村振興部門」を受賞されました飯田喜美子様(昭和42年3月卒業)

の功績が紹介され、記念品の贈呈が行われた後、すべての議事を終了しました。



記念品贈呈の様相

農業大学校同窓会名簿の購入御案内

平成26年11月に15年ぶりの新名簿を発行しました。まだ御購入されていない方は、是非とも御購入をお願いいたします。

名簿領価: 1冊3,000円
(消費税、送料込。振替手数料は別途)
お問い合わせは同窓会事務局まで

(電話0564-51-1601)

東海近畿ブロック
同窓会長会議報告

平成30年度の東海近畿ブロック農業大学校同窓会長会議が平成30年6月5日(火)から6日(水)にかけて、岐阜県農業大学校を会場に開催され、富永副会長が出席しました。

会議は、東海近畿ブロック農業大学校校長会議と合同開催され、初日の全体会議では、主催者・来賓あいさつの後、東海農政局による情勢報告及び、(株)寺田農園代表取締役の寺田真由美氏による基調講演が行われました。

その後、同窓会長会議の分科会議が開催され、同窓会の現状等について、活発な議論が交わされました。

次期理事会
開催のお知らせ

同窓会規約により、平成30年度は次のとおり開催予定です。で、理事の皆様は出席をお願いします。

日時 平成31年2月5日(火)

午前10時30分から

場所 愛知県立農業大学校

中央教育棟研修室

平成三十年度
役員名簿

Table with 2 columns: Position (e.g., 会長, 副会長, 書記) and Name (e.g., 柴田 隆夫, 富永 康典). Includes a list of names for various roles like 顧問, 名譽顧問, 名譽顧問, 顧問, 書記, 事務局長, 会計監事, 副会長, 会長.

農業大学校研究部同窓会について

長久手市の愛知県農業総合試験場内にありました研究科は平成30年3月をもって廃止となりました。廃止に先立つ3月21日に大村知事を来賓に迎え、多くの同窓生の出席の下、岡崎ニューグランドホテルにおいて研究部同窓会の記念大会が盛大に開催されました。大会では、名譽顧問である長尾元校長から当時の思い出も込めたあいさつがされましたので、ここに掲載します。

あいさつ

愛知県立農業大学校 第二代会長

長尾 周幸

農業後継者の養成と、農業技術者の育成について、これまで愛知県立農業大学校が果たしてきた、役割とその業績は非常に大きなものが有ったと思っております。こうした数々の成果に対して心からの敬意を表します。昭和60年4月1日にこの研究部が創設されたのですが、研究部にかかわるエピソードと申しますか裏話をご披露させて頂きま

す。実は、この日、研究部の新しい看板を取り付けたのが、この私なのです。農業大学校が創立され、初代副校長の辞令を頂いて、新任の挨拶を済ませたあと、初仕事として、直ぐに長久手の研究部に行って、新しい看板を取り付けるように仰せつかりま

した。当時は、私は長久手にある農総試の公舎に住んでいたのですが、誠に便利な初仕事であった訳です。

今回、この研究部が閉校になるとの決定に、大きな時代の流れを感じている次第です。私は昭和63年3月31日に愛知県を退職して30年になります。研究部の創設と閉校の両方にかかわる事になりますので、実に感慨深いものがあります。

時代の流れが変わったから閉校になったと言いますが、どう変わったか：について私の考えを少しだけ述べさせていただきます。

実は30数年前、現職で愛知農総試・基礎研究部・環境工学研究室長として省エネに関する試験研究に取り組んでいました。そのとき、日本経済研究所の竹中一雄理事長の農業に関する主張に強烈な感銘を受けました。本心に目から鱗の感じでした。掻い摘まんで紹介しますと、アメリカの農業経営者は、医者や弁護士よりも社会的評価が高いと言っているところ、翻って日本はどうかと言うと、日本は、未だその段階に至っていない、と言うのです。

何故、アメリカでは農業経営者の地位がそんなに高いかと言うと、大規模な農場の経営を適切・正常に運営し、しかも、農業生産によって利潤をあげているためには、ありとあらゆる分

野の学問・知識の掌握と技術の上になり立つ産業であるからです。遺伝学、化学、土壌・肥料学、病害虫防除学、栽培学、農業氣象学、獣医学、動物の疾病と治療、経営学、経済学、市場流通理論、等々。それ故に、農業経営者のステータスは尊敬されるに値する。医者よりも高い地位が保証されると言うのです。

30数年前の竹中一雄氏の主張が、今、ようやく、我が日本もその段階に到達したものと考えます。その具体的な実例を、ここ数年の日本農業賞受賞の数々に見ることが出来ます。その上、今、日本の農産物は、海外においても非常に高い人気と評価を得ていると、聞いております。

これからの日本農業の発展は計り知れない、大きな展望が広がっていくものと期待しております。かつて、日本のデンマークと称された愛知の農業が、更に飛躍を遂げる時がきたものと捉えて励んで下さい。

何事にも「始まり」と「終り」が有ります。農業技術者育成と、普及員の養成を担ってきた研究科は閉校となりますが、日本農業を此処まで押し上げるために、立派に、大きく貢献してきたものと高く評価して、良いのではないのでしょうか。「良くやっただい」と、声を大にして研究部・研究科の業績を讃え、卒業生諸君の今後の更なる御活躍を祈念して私の祝辞といたします。

農業大学の近況

(人数は入学式時点)

1 農学科入学生の傾向

本校では、就業意欲の高い学生を確保するため、毎年、オープンキャンパスや緑の学園研修の開催等、様々な取組を積極的に実施しています。

こうした取組もあってか、農大の志願者は、近年、増加傾向にあります。昨秋に実施した入学試験では、100人の定員に対し、過去最高の131人の受験者があり、試験の結果、95人が入学しました。新2年生95名と合わせると190人の学生数となりました(表・1)。

表-1 農学科入学者数の推移

入学年度	受験者数	合格者数	入学者数	女子学生		農家子弟	
				人数	割合	人数	割合
H21	76人	73人	64人	14人	22%	31人	48%
H22	104人	103人	94人	16人	17%	39人	41%
H23	112人	101人	94人	23人	24%	35人	37%
H24	84人	78人	72人	13人	18%	30人	42%
H25	100人	95人	86人	17人	20%	34人	40%
H26	105人	102人	92人	24人	26%	35人	38%
H27	127人	108人	97人	24人	25%	26人	27%
H28	130人	110人	106人	33人	31%	32人	30%
H29	113人	100人	96人	27人	28%	34人	35%
H30	131人	102人	95人	25人	26%	37人	39%

本年度の入学者95人の内訳をみると、農家子弟の学生は37人で、全体の39%です。農家子弟の学生はこれまで減少傾向が続いておりましたが、28年度以降は増加傾向に転じています。また、女子学生は25人(26%)で、県内の農業関係高校出身者は59人(62%)でした。

専攻別では、野菜の2専攻と果樹専攻、酪農専攻が引き続き志願者が多いという状況です(表・2)。

表-2 専攻別の学生数(8月15日現在)

専攻名	1年生		2年生		計	うち女子
	男子	女子	男子	女子		
鉢物・緑花木	11人	1人	8人	2人	19人	3人
切花	10人	5人	12人	2人	22人	7人
作物	8人	3人	6人	1人	14人	4人
果樹	13人	2人	15人	4人	28人	6人
露地野菜	13人	2人	15人	1人	28人	3人
施設野菜	15人	4人	14人	5人	29人	9人
酪農	15人	5人	13人	7人	28人	12人
養豚・養鶏	10人	3人	12人	5人	22人	8人
計	95人	25人	95人	27人	190人	52人

2 農学科卒業生の進路状況

本校では、進路セミナー等により、早い段階での進路の方向付けや就職活動を支援するとともに、職業安定法に基づく「無料職業紹介事業」を実施し、学生に求人法人等の紹介を行っています。

農学科卒業生の進路は表・3のとおりです。今年の3月の卒業生のうち、就農者は予定者も含めると49人で、卒業生全体の48%を占めています。また、就職した卒業生43人のうちの35人は、農業関連企業や団体に就職しました。

なお、四年制大学へ編入学した学生は3人、専門学校に進学した学生が1人おりました。

表-3 農学科卒業生の進路状況

卒業年度	H25	H26	H27	H28	H29
親元就農、独立自営就農	7人	15人	10人	7人	7人
一時就職後に就農	4人	4人	1人	4人	4人
研修後に就農	3人	3人	2人	2人	6人
農業法人等への雇用就農	19人	27人	29人	36人	32人
就農者計(予定含む)	33人	49人	42人	49人	49人
就職	18人	20人	30人	35人	43人
進学	10人	8人	10人	4人	4人
その他	5人	7人	3人	1人	6人
合計	66人	84人	85人	89人	102人

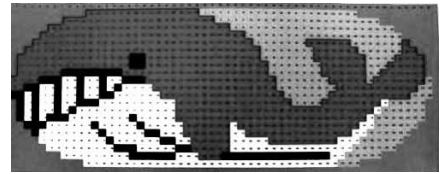
3 研修部の組織再編

近年の農業を取り巻く情勢の変化や農業者の多様なニーズに対応するため、以下のとおり研修部の組織体制及び研修内容の見直し・拡充を図りました。

- ① 研修科を2科体制(就農支援科、担い手支援科)に拡充
- ② 新たな研修の創設(農業経営塾、GAP研修、女性農業者支援研修)
- ③ 既存の研修の拡充(農産物利活用研修、県民公開講座)
- ④ 既存の研修の廃止(農業機械士研修・制度廃止のため)

農学科各グループの近況

【鉢物・緑花木専攻】本年度は情報発信に重点を置いた以下の取組を行っています。



① 公園花壇の植栽・名古屋市みどりの協会とタイアップし、鶴舞公園の正面広場の花壇に、学生が考えたデザイン(写真)をもとに、農大で栽培した花材を使用し、学生が定植作業を行います。秋花壇は9月11日、春花壇は2月上旬に定植作業を行う予定です。来園者に楽しんでいただきます。



② 花フェスタへの参加...11月22日から25日まで、安城産業文化公園デンパークで開催される「あいち花フェスタ2018」において、屋内フラワードェイにおいて、屋内フラワードェイの展示を行います。写真のような農大で栽培した花材を中心に、学生らしい趣向で飾りつけ、農大をPRします。

③ 切花専攻 本年度は、以下の消費拡大の取組を重点的に実施しています。

④ バラのオリジナル品種の拡充 平成25年度に学生が、赤色系のスプレーバラ(写真右)から発見した、多花蕾性で花弁数の多いピンク系の枝変わり品種(写真左)を先輩から引継いで



栽培しています。特性調査の上、品種特性を引き出せる栽培方法を確立し、市場性が見込まれたため増殖

⑤ 新商品の開発 新たな消費喚起の提案として、学生プロジェクトにおいて、スプレー咲きのヒマワリや輪ギク、果実を鑑賞する実ものハイビスカスや切花用ハボタン等を新たに栽培し、実習販売や市場出荷で人気や売れ行きを見ています。有望品種は次年度も継続栽培します。

【野菜グループ】

⑥ 露地野菜専攻 7月に念願の野菜移植機を導入しました。これまで、学生の勉強のためにセル成苗の育苗だけは実習してきましたが、定植は学生が手植えて行ってきました。しかしながら、露地野菜経営体では、移植機を利用した栽培体系が当たり前となっており、今回の導入に至りました。

⑦ 本年の苗づくりは、夏季の高温対策を徹底し、ガッチリとした移植機に対応できる苗が育成できました。8月17日からキャベツの定植作業が始まり、効率よく植える



「おいし果」で糖度を測定する際には、トマトの品種ごとの糖度検量線が必要です。そのため、学生がプロジェクト活動として、ヤシ殻培地栽培と袋培地栽培において、2品種のトマト



移植機を見て、学生や職員から歓喜の声があがっていました。野菜苗の定植は10月まで続き、学生全員が機械操作を学習していきます。

〔施設野菜専攻〕 非破壊糖度計

「おいし果」を導入し、トマトのブランド化を目指しています。「おいし果」とは、果実を切らなくても瞬時に糖度と熟度が測定できる糖度計です。



今回、色彩選別機を導入できたことで、乾燥調製技術の不可

を栽培し、週に3回、3果ずつ、糖度を測定してきました。現在、プロジェクト活動で高EC管理による高糖度化や、高糖度品種の比較試験も行っており、今後は「おいし果」を有効活用して、トマト、ミニトマトの差別化販売を目指します。

〔作物・果樹グループ〕

〔作物専攻〕 近年多発生している斑点米カメムシ等の被害粒に対応するために、新たに色彩選別機を導入し、30年産米から稼働させています。

斑点米は、カメムシが籾を吸汁することで玄米に斑点ができるもので、薬剤だけの防除では防ぐことが困難になっています。県内のJA及び大規模農家の乾燥調製施設では、色彩選別機がほぼ整備され、県内では、色彩選別機はもはや標準的な設備となっています。

欠な取組のひとつとして、学生の技術習得が可能となりました。また、外観品質の向上を図ることで、高品質な農大産の玄米・白米を消費者の方々へ直接提供することができるようになりました。

〔果樹専攻〕 12月1日の農大祭に出荷できるように、12・3aのカキ園(品種・次郎)で袋かけ栽培に取り組みました。果実を袋でへたごと包んで、寒さや病害虫などから守り、収穫時期を遅らせて糖度や食味を向上させる取組です。



この取組を学生のプロジェクト課題にして、袋かけ時期(8月、9月、10月)を変えて、果実品質を調査して最適な袋かけ時期を判断します。



て、学生数名と職員とでは場の一部で袋かけを行いました。例年でない猛暑の中での作業は大変でしたが、農大祭にて皆様のお目にかけることを楽しみにして頑張っています。



今回の受講が、学生それぞれのキャリアになるとともに、酪農経営で重要な繁殖管理につい

〔畜産グループ〕

〔酪農専攻〕 専攻生の大部分(1・2年生28名中21名)は、ほぼ夏休みの全期間(7月23日〜8月30日)を費して、県畜産総合センターで開催された家畜人工授精講習会を受講しました(写真は凍結受精卵を解凍する演習風景)。

特に、1年生のこの時期は専攻の作業を2年生から教えてもらう引継期間が終わり、独り立ちをする大変な時期です。加えて、当番も3週間のうち1週間分連続実施する頻度で回ってきます。当番にあたる朝早くから農大で搾乳をした後に講習に参加し、帰ってからまた夕方の搾乳を行なわなければならないため、かなりのハードスケジュールとなります。

その中でも、学生のプロジェクトで取り組んでいる、暑熱下での繁殖成績低下を防ぐための性ホルモン剤投与が良好な結果を示しており、技術とアイデアの大切さを学ぶことができました。



その中でも、学生のプロジェクトで取り組んでいる、暑熱下での繁殖成績低下を防ぐための性ホルモン剤投与が良好な結果を示しており、技術とアイデアの大切さを学ぶことができました。

の認識が深まり、学習や技術習得への意欲が一層高まること期待されます。

〔養豚・養鶏専攻〕 今年の夏は、連日異常な暑さが続きました。特に、養鶏コースでは、熱中症や夏バテで栄養不足になって鶏が死亡したり、産卵量が落ち込んで夏休み期間中の実習販売を1回お休みしたりと、暑さによるダメージが例年よりも大きかったです。

当番の学生は自分たちも暑くて大変な中、空鶏舎の洗浄と並行し、鶏舎の屋根への散水や扇風機の24時間稼働、少しでも涼しい夕方から早朝の給餌、ビタミン剤の飲水給与(写真)を行い、特に暑い日は、直接鶏に水を掛ける対策も行いました。

養豚コースでも、暑さのため豚の体重がなかなか増えず、出荷が遅れるなどの影響が出ました。

農大祭

農大祭2017大盛況に開催

「農大祭2017」を平成29年12月2日(土)午前10時から午後2時まで、農業大学校において開催しました。

晴天に恵まれ、およそ三千名の来場者がありました。例年人気のある、鉢物・緑花木(シクラメン、ポインセチア、シンピジウム、洋ラン等)と堆肥の販売では、午前8時45分の整理券配布から、長い行列ができていました。

農畜産物の直売は、午前10時の開始前から長蛇の列ができるなど、会場は熱気に包まれていました。学生たちは自ら育てた農産物を元気に声を出して販売し、午前中に完売する専攻が多かったです。

食品バザーでも、学生が手作りした焼きそば、五平餅、うどん、大学いも、ジャムなどを買い求める来場者の長い列ができました。

12時から無料配布した農大鍋では、用意した300食が瞬間になくなる盛況ぶりでした。また、午前・午後2回に分けて実施された農大キャンパスツアーには併せて103名の参加者がありました。

さらに、環境クラフト教室、茶道部による農大茶席、協賛団体・企業の出展ブースにも多くの来場者があり、大盛況の農大

祭となりました。農大祭で皆さんをお待ちしております

今年度も12月1日(土)に農大祭を開催します。今年度は「活

気ある農大祭―農大の意思を継ぐ者―」をテーマに、例年どおり農産物販売、各種バザーなどの取り組みを通して、愛知県の農業の魅力と大切さを伝えていくとともに、地域の皆様に農業大学校を身近に感じて、楽しんでいただけるよう学生が中心となり準備を進めています。多くの皆様のご来校をお待ちしています。

農大祭2018への協力金について

農大祭実行委員会では、同窓会会員の皆様からの協力金を募っております。ぜひとも皆様の御協力をお願いいたします。

●協力金の金額

1口 1,000円
(1口以上でお願いします)

●振込先

金融機関 あいち三河農業協同組合 美合支店
口座名義 農大祭実行委員会
会長 三浦貞志
口座番号 普通 0036083

※振り込まれる場合は、御氏名の前に「同窓会(ドウソウカイ)」と御記入ください。

※金融機関の窓口で振り込まれる場合は、各金融機関の振込

依頼用紙を御利用ください。振込期限 平成30年11月16日(金)

オープンキャンパス

「農大発見の日」と「サマーキャンパス」を開催

平成30年6月2日(土)、16日(土)に「農大発見の日」を、8月1日(水)、8日(水)、22日(水)に「サマーキャンパス」をそれぞれ開催しました。

農業大学校の入学に関心のある方々を対象としたもので、5日間で高校生等の生徒が173名、保護者や一般の方が152名、計325名の参加がありました。また、県内や隣県はもとより、茨城県、長野県、岡山県といった遠方から参加した高校生もいました。

参加者は、大講義室でのパワーポイントを使った概要説明に続いて、和耕寮や広大な敷地内のほ場や施設を見学しました。また、終了後の受験相談では、入学試験、入学後の学習などについて、職員に熱心に質問していました。

参加者からは、「本日の説明を聞いて農業を詳しく学びたいと思った。」「設備が大変整っており、充実した学生生活を送れると思った。」「子供本人も農業大学校入学を目指しており、ぜひ入学できるよう頑張りたい。」「とても広くいろいろなことが学べると思った。」といった好印象の感想が多く寄せられました。

農学科の29年度卒論発表会を開催しました!

平成29年度農学科卒業論文発表会を1月11日(木)に開催しました。

農業大学校では2年生全員が、プロジェクト活動に取り組みます。学生自らが農業を学ぶ中で感じた疑問点をテーマとして様々な試験を行いながら科学的に検証し、それらを卒業論文としてまとめます。卒論発表会は、専攻別に選ばれた8名がその成果について10分間の発表を行うものです。卒論発表は2年間の専攻実習の集大成であり、自分の取り組んできたテーマを全学生の前で発表できる絶好の機会です。各専攻では、発表会に向けて先生や専攻生の入念な資料のチェックや繰り返しリハールを行うなど専攻全体でバックアップしてきました。いずれの発表者も選考の代表であるという自覚と責任を持って素晴らしい発表を行っていました。

花専攻の田崎康太くんの「切り前と鮮度保持剤がキクの品質・日持ちに及ぼす影響」と露地野菜専攻の田中智大くんの「保温資材を活用した春ダイコンの作期選定試験」が選ばれました。校長(審査委員長)は、限られた期間や条件の中での取組に苦労したと思うが工夫や頑張りや伝わってきたこと、どれもレベルの高い内容のある素晴らしい発表であったことなどを審査講評で述べました。

なお、最優秀賞の本田さんは1月18日に京都府で行われた「東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会」に本校代表として参加しました。非常に惜しいところで優秀賞は逃しましたが、その後東京で開催された全国大会にも参加し、本校代表として恥じない堂々とした発表を行いました。



優秀賞の学生と校長先生

ケーブルテレビの
放送について



放映の一コマ(実習販売の様子)

のホーム
ページに
もアップ
されてい
ますの
で、ご覧
になって
ください
。

岡崎市のケーブルテレビによる広報番組「岡崎まちなものがたり」では岡崎市内の各小学校区を案内していますが、今回、緑丘小学校区が取り上げられ、校区内の施設の一つとして農業大
学校が紹介されました。
その中で、農業大は、県
内有数の農業教育施設であるこ
とが紹介されるとともに、農大
職員や学生がインタビューを受
け、農業大の概要や特徴につ
いて説明し、毎週実施してい
る実習販売の目的や意義につ
いて語りました。活況にわく実習
販売の様子も放映され、地域に
根付いている農業大の様子が
伝わったと思います。

追進館につきましては、昨年度
の同窓会報でもお知らせしま
したが、平成29年度中に解体予
定とされ、平成29年10月30日
には同窓会員を対象とした記念撮
影会を開催しました。
しかし、その後、追進館の保
存活用の可能性についての検討
のために、当面、解体を一時停
止することとなりました。
現在、追進館は老朽化のため
に内部への立入りはできません
が、中央教育棟に追進館につ
いて紹介するコーナーを設置し
ています。
追進館の構造が一目でわかる
よう、ミニチュア模型を展示す
るとともに、追進館の建物の構
造上の特徴や建築技術、建築当
時の状況やこれまでの利用状況
などを解説するパネルもあわせ
て展示
しています。



追進館の展示コーナー

て展示
しています。

追進館について

東海近畿地区農業大
学大生スポーツ
大会(奈良大会)で
愛知農大生輝く!



閉会式終了後、参加者全員で

ムは上級生
を中心にま
とまりがよ
く、互いに
声を掛け合
いピンチに
も動ずるこ
となく試合
に臨んで
いました。
チームワー
クの良さが
もたらした

東海近畿地区農業大生
スポーツ大会が5月31日と6月
1日、奈良市鴻池運動公園を中
心に開催されました。本校から
は、76名の学生が、野球、バス
ケットボール、バレーボール、
テニス、バドミントン、卓球の
6種目に分かれ出場しました。
試合の結果、団体競技では、
野球、バスケットボール、卓球
の3競技で優勝することができ
ました。特に、バスケットボー
ルは、平成28年度から3大会連
続の優勝です。
野球は、初日雨が降る悪天候
の下でも、集中力を切らすこと
なく白球を追いかけ全力でプ
レーをしていました。二日目の
決勝戦は、岐阜農大との接戦を
制し見事栄冠を手にすることが
できました。また、今年のチー

お知らせ

「農大だより」について

農業大では開かれた農大を目指して、「農大だより」を毎月発行し、各方面に配布し、本校ホームページにも掲載して広く公開しています。日頃の学習状況や学生の活躍、学校行事など様々な話題を写真とともに掲載しております。同窓会の皆様も是非ご覧ください。

本校ホームページ
「<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>」
中の「農大だより」をご覧ください。
また、「愛知農大」で検索しても、ほとんどの場合に本校ホームページを見ることができます。

優勝だといえるでしょう。
個人競技では、卓球、バド
ミントン、テニスの種目で優
勝することができました。特に
卓球女子ダブルスに出場したペ
アは、お互いの息も合い、鋭い
ショットを連発しレベルの違い
を見せつけていました。このペ
アは、昨年度も優勝し大会2連
覇を達成しました。また、シン
グルスで優勝したテニスとバド
ミントンの選手は、まだ1年生
で来年度の活躍が期待されま
す。
宿泊ホテルでは、夕食後、参
加者全員が集いゲームやレクリ
エーションが行われました。専
攻や学年、府県の壁を越え学生

本校学生の奮闘結果

団体	優勝	バスケットボール、野球、卓球
個人	優勝	卓球女子W、バドミントン男子S テニス男子S、テニス女子S
	準優勝	バドミントン男子S、テニス女子W
	3位	卓球男子S、卓球女子S 卓球男子W、バドミントン女子S バドミントン女子W、テニス男子W

同士が実習や寮での生活、将来
のことなど、尽きることなく会
話を弾ませていました。
選手たちは、会場のごみ拾い
や後片付け、グラウンド整備など
競技以外の場面でも積極的に行
動することができました。
また、他府県の学生と交流
を深めた
だけでなく、
マナー、
ジャニー、
学生会や
写真部な
ど参加し
た学生の
絆も深ま
りました。

平成29年度海外派遣研修 国際感覚を磨くとともに幅広い視野を養いました

教育部農学科では、海外の農業事情を学習するとともに、幅広い視野と国際性を身につけることを主目的とした海外派遣研修を、カリキュラムのひとつとして毎年度実施しています。

平成29年度は、平成30年1月20日(土)から27日(土)までの8日間、オーストラリアへの研修を実施し、2年生96名が参加しました。

研修当時は、全国的に厳冬が続き、インフルエンザも大流行していました。研修直前になってインフルエンザを発症してし



オペラハウスを背景に記念撮影

まい、研修に参加できなかった学生が複数名いたのは、大変に残念でした。

南半球のオーストラリアでは、1月は真夏の気候となりますが、特に今年の1月は、シドニー郊外で47.3℃を記録するなど、連日40℃を越す猛暑が続いていました。

厳冬の日本で、冬の寒さに縮こまっていた体にとっては、極めて厳しい気象条件の中で、シドニー郊外のホークスベリー地区において、学生96名が25グループに分かれて、3泊4日のファームステイを実施しました。



野菜の水耕栽培の作業説明を受ける学生

ホークスベリー地区は、過去に本校が何度も派遣研修を行ってきた地区です。このため、ホストファミリーも、日本人の受

入に慣れた人ばかりで、学生の受入は極めてスムーズに行われました。

研修前には、言葉が通じない外国でのファームステイを不安に思っていた学生も少なからずいたようですが、強烈な紫外線で刺すような日差しの中でも、学生は皆、農大の専攻実習で培った技術力と体力とを十分に駆使して、一生懸命農作業に従事するとともに、言葉の壁を乗り越えながら、ホストファミリーとの積極的なコミュニケーションに努めていました。



ファームステイ先の果樹園の管理をする学生

足かけ4日間のファームステイはまたたく間に過ぎ去り、最終日の集合場所では、ホストファミリーとの別れを惜しむ学生達ばかりでした。

現地のファームステイの世話人からは、「これまでいろいろな学生が当地区にファームステイに訪れたが、今回の農大生はその中で最も素晴らしかつ

た。」との賞賛の言葉をいただきました。



大規模酪農家の搾乳作業を見学する学生

ファームステイ終了後は、シドニー近郊の大規模農業経営体や市場の視察、現地で活躍している日本人経営者の海外の農業事情についてのレクチャーを受けるとともに、動物園ではオーストラリア固有の多様な動物に接したりと、盛りだくさんの研修スケジュールをこなしていただきました。

酷暑の中、1名の学生が途中で体調不良となったものの、研



花き園芸農家を視察する学生



プレミントマーケットを視察する学生

修後半には回復し、結果的には大きなトラブルも無く、順調に研修を終えることができました。

研修が始まる前は、1000名近い学生が、言葉の壁や文化、習慣の違いを乗り越えて、それぞれ円滑に研修を実施できるか正直不安に感じていましたが、実際に研修を実施してみると、仲間とうまく連携をとりながら、物怖じもせず積極的に行動し、今回の研修を「十分に堪能した」学生ばかりでした。いざという場面での学生の行動力、順応力に改めて感心させられた次第です。

今回の研修では、日本では得ることのできない数多くの経験を重ねることができました。これらの貴重な経験は、この4月からの新たな進路先でも十分に役に立つものであると考えています。

研修部の各種研修紹介

研修部では、農業者が社会情勢の変化と進歩する農業技術に対応するための研修と、一般県民が愛知県の農業を理解するための研修を年間を通して実施しています。今年度実施する研修の定員総数は約三千三百名ですが、研修によっては可能な範囲で受入れを増やしています。

〔1 農業者生涯教育研修〕

農業を担うべき者を対象に、農業者の発展段階に合わせた研修を行っています。

担い手の確保を目的とした研修は、高校生を対象とした「緑の学園研修」のほか、主にUター



雇用創出農業研修

また、農業者の経営発展を目的とした研修としては、必要とする知識・技術をタイムリーに習得する「経営管理研修」、「生産高度化研修」、「農産物利活用研修」を実施するとともに、平成30年度からは、経営改善効果が期待できる「GAP研修」や、農業者が営農しながら体系的に経営を学べる場として「愛知農業次世代リーダー塾」を開講し、本県農業を牽引する優れた経営感覚を備えた農業者の育成を図っています。

〔2 農業機械研修〕

農業機械研修は、農業を担うべき者を対象に、農業機械に関する知識・技術修得を目的とした研修を実施しています。

免許を取得する「大特免許研修」、「けん引免許研修」の他、研修修了証が取得できる「小型車両系建設機械研修」、「フォークリフト研修」、「アーク溶接研修」、「刈払機研修」等を実施しています。



大特免許研修

農業機械に関する研修は、免許や研修修了証の取得に直結するだけでなく、安全で効率的な農作業に不可欠であるため人気が高く、中には受付開始初日で定員に達する研修もあります。

〔3 農業理解研修〕

県民が、愛知県の農業や食料に関する正しい知識を得て、農業・農村への理解と関心を深めるための研修です。

本年の「県民公開講座」は、小学生の親子を対象に、ほ場見学など農業者との交流を図る現地研修や、小学校の授業で野菜などの栽培実習を行う出前授業等を実施しています。

また、園児や小学生等が農大の生産施設見学等を通じて農業に親しみ、農業を理解するための「農業ふれあい研修」を実施しています。



小学校への出前授業(農業ふれあい研修)

平成30年度に研修部が実施する各種研修一覧

研修名		回数	定員数
農業者生涯教育	緑の学園	5	150
	ニューファーマーズ	—	20
	農業者育成支援	—	15
	雇用創出農業	—	30
	経営管理	4	290
	生産高度化	11	1,040
	農産物利活用	3	60
	GAP	1	150
	女性農業者支援	1	20
愛知農業次世代リーダー塾	—	20	
農業機械	大特免許	7	128
	けん引免許	2	27
	大型トラクター作業	1	15
	小型トラクタ利用(初心者向け)	3	44
	小型車両系建設機械	2	52
	フォークリフト	2	56
	アーク溶接	1	24
	刈払機	1	24
農業理解	県民公開講座	3	130
	農業ふれあい	—	1,000
合計		—	3,295



平成二十九年 卒業式

教育部農学科第33回生、教育部研究科第32回生の卒業式が、平成30年3月8日(木)午前10時30分から、多数の御来賓の方々の御臨席をいただき、中央教育棟大講義室において盛大に挙行されました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、式では、厳肅な雰囲気の中で農学科・研究科の卒業生を一人ひとりと呼名し、代表者に三浦校長から卒業証書が授与されました。引き続き行われた表彰式では、

農業大学校同窓会全国連盟会長賞始め各賞の表彰が行われ、18名が表彰を受けました。

また、同窓会からの記念品として、柴田会長が卒業生全員にピンバッジと印鑑付ダブルペンを贈呈しました。

表彰状

優秀賞

〔愛知県知事賞〕

木全 美咲 教育部農学科

長元 楓 教育部研究科

園芸農産専攻

〔全国農業大学校協議会長賞〕

杉浦 星花 教育部農学科

酪農専攻

〔大学校長賞〕

土井 和也 教育部農学科

施設野菜専攻

多田 朱里 教育部農学科

露地野菜専攻

沓名 真穂 教育部農学科

鉢物・緑花木専攻

田崎 康太 教育部農学科

切花専攻

内山 季映 教育部農学科

果樹専攻

農業大学校同窓会全国連盟会長賞

高平 隼人 教育部農学科

切花専攻

精励賞

〔大学校長賞〕

三浦 幸輝 教育部農学科

鉢物・緑花木専攻

近藤まこと 教育部農学科

切花専攻

山本 倬也 教育部農学科

作物専攻

村瀬 峻紀 教育部農学科

果樹専攻

村瀬 竜太 教育部農学科

露地野菜専攻

鈴木 嵩史 教育部農学科

施設野菜専攻

本田 詠梨 教育部農学科

酪農専攻

今泉 彰吾 教育部農学科

養豚・養鶏専攻

特別賞

〔大学校長賞〕

酒井 太朗 教育部農学科

酪農専攻

農業大学校の職員

(平成三十年七月一日現在) ○印は異動の職員

校長 三浦 貞志

副校長 友松 啓二

〔管理課〕

課長 吉野 雅信

主幹 小久保和夫

主任主査 栗山 明子

主査 横井 元弘

主事 榎 千鶴

非常勤 青木 理可

非常勤 平岩香名子

〔教育部〕

部長 矢鳥喜久治

(学務科)

科長 松下 康英

総括専門員 中村 亮

主任専門員 鈴木 聡

主事 森居 祐子

再任用 伴 浩志

再任用 坂口 卓司

非常勤 小林 和夫

非常勤 山下 篤

非常勤 辻 邦夫

非常勤 堀越 正史

(農学科)

(兼)科長 矢鳥喜久治

科長補佐(花きG班長) 坂下 健

主任専門員 野田 輝夫

主任専門員 野村 浩二

主任専門員 山田 稔

技師 紀岡 亮治

非常勤 鶴田 瑞穂

科長補佐(作物果樹G班長) 横井 信之

主任専門員 平 晋一郎

主任 津田 健吾

技師 佐野 達也

非常勤(七月三十一日まで) 新谷 円

非常勤(八月一日から) 沓名 真穂

科長補佐(野菜G班長) 山本 厚

主任専門員 河野真砂子

主任 榎本 剛士

主任 安永美紗子

技師 宮田 将和

再任用 中西 英人

科長補佐(畜産G班長) 中谷 洋

主任専門員 川上 幸裕

主任専門員 山本るみ子

専門員 渡邊 久子

専門員 西村 岳

(兼)部長 柳澤 淳二

再任用 増田 結

〔研修部〕 友松 啓二

(兼)部長 柴田 博之

科長 加藤 夕子

専門員 石本 聖絵

技師 梶田 靖

再任用 中村 彰

非常勤 野村 芳江

非常勤 石橋 良洋

科長 田中 義信

主任専門員 菰田 園子

再任用 森山 勝史

再任用 竹尾 理仁

非常勤 大澤 史季

平成29年度 会計決算報告

1 平成29年度 一般会計収支決算

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備考
2,316,242	1,793,753	522,489	自平成29.1.1 至平成29.12.31

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
会費	1,780,000	1,780,000	0	農学科 89名 (@20,000円)
雑収入	100	10	△90	預金利息 29.2.19 4円 29.8.20 6円
農大祭協力 依頼文作成費	99,896	49,896	△50,000	農大祭2016協力依頼 文印刷代(農大祭実行 委員会から受入)
理事会 清算金	0	3,000	3,000	1名欠席 弁当代:1,000円 記念品料:2,000円
繰越金	483,336	483,336	0	
計	2,363,332	2,316,242	△47,090	

支出の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	差引残額	備考
全国連盟会費	73,364	72,364	1,000	会員割20,000円 学生1名500円×103名 振込手数料864円
支部活動費	10,000	0	10,000	
技術部会 活動費	21,296	10,648	10,648	果樹技術部会 (はるき会)
旅費	90,000	84,910	5,090	東海近畿ブロック同窓会長 会議(29.6.6~7)、全国連盟 総会(29.7.21)旅費
事務用品費	40,000	0	40,000	
会報発行費	810,000	733,997	76,003	同窓会報第33号 印刷・発送
会議費	100,000	103,821	△3,821	役員会1回 29.1.20 理事会1回 29.2.3開催費 (旅費、昼食代、記念品料等)
賃金	10,000	0	10,000	
記念品費	231,400	191,408	39,992	卒業生記念品(印鑑付 ダブルペン、ピンバッジ、 図書カード)29.3.9
表彰費	70,000	65,124	4,876	高感度電波掛時計 21,708円×3個
個人情報 業務委託費	130,464	130,464	0	会員アーケ年間管理料129,600円 振込手数料 864円
交際費	10,000	0	10,000	
繰出金	400,000	400,000	0	名簿作成基金 200,000円 創立記念基金 200,000円
予備費	366,808	1,017	365,791	追進館撮影会 写真現像代
計	2,363,332	1,793,753	569,579	

2 平成29年度 名簿作成基金会計収支決算

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備考
826,469	0	826,469	自平成29.1.1 至平成29.12.31

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
繰入金	200,000	200,000	0	一般会計から
預金利息	30	5	△25	29.2.19 2円 29.8.20 3円
名簿収入	0	12,000	12,000	名簿売上(4冊)
繰越金	614,464	614,464	0	前年度より繰越
計	814,494	826,469	11,975	

支出の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	差引残額	備考
予備費	814,494	0	814,494	
計	814,494	0	814,494	

3 平成29年度 創立記念基金会計収支決算

(1)普通預金

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備考
2,079,743	0	2,079,743	自平成29.1.1 至平成29.12.31

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
繰入金	200,000	200,000	0	一般会計から
預金利息	200	15	△185	29.2.19 7円 29.8.20 8円
繰越金	1,879,728	1,879,728	0	前年度より繰越
計	2,079,928	2,079,743	△185	

支出の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	差引残額	備考
予備費	2,079,928	0	2,079,928	
計	2,079,928	0	2,079,928	

(2)定期預金

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備考
500,412	0	500,412	自平成29.1.1 至平成29.12.31

(次年度へ繰越)

収入の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
預金利息	100	106	6	29.2.5 106円
繰越金	500,306	500,306	0	前年度より繰越
計	500,406	500,412	6	

支出の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	差引残額	備考
予備費	500,406	0	500,406	
計	500,406	0	500,406	

平成30年度 会計予算

1 平成30年度 一般会計収支予算 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
会 費	2,040,000	1,780,000	260,000	農学科102名
雑 収 入	10	100	△90	預金利息
繰 越 金	522,489	483,336	39,153	前年度より繰越
農大祭協力 依頼文印刷費	0	99,896	△99,896	
計	2,562,499	2,363,332	199,167	

支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
全国連盟 会 費	68,364	73,364	△5,000	会員割 20,000円 学生1名 500円×95名 振込手数料 864円
支部活動費	10,000	10,000	0	5,000円×2支部
技術部会 活 動 費	21,296	21,296	0	10,000円×2部会 振込手数料 648円×2
旅 費	90,000	90,000	0	東海近畿ブロック 会議、全国連盟総会 の出席旅費
事務用品費	40,000	40,000	0	文具等
会報発行費	740,000	810,000	△70,000	同窓会報発行・発送
会 議 費	110,000	100,000	10,000	役員会、 理事会開催費
賃 金	10,000	10,000	0	
記念品費	265,200	231,400	33,800	卒業生記念品代 @2,600円×102人
表 彰 費	70,000	70,000	0	同窓会員の 表彰記念品代
個人情報 業務委託費	130,464	130,464	0	会員データ年間管理料 129,600円 振込手数料 864円
交 際 費	10,000	10,000	0	
繰 出 金	400,000	400,000	0	名簿作成基金 200,000円 創立記念基金 200,000円
予 備 費	597,175	366,808	230,367	
計	2,562,499	2,363,332	199,167	

2 平成30年度 名簿作成基金会計収支予算 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計から繰入
預金利息	5	30	△25	
名簿収入	12,000	0	12,000	
繰 越 金	826,469	614,464	212,005	前年度より繰越
計	1,038,474	814,494	223,980	

支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
予 備 費	1,038,474	814,494	223,980	
計	1,038,474	814,494	223,980	

3 平成30年度 創立記念基金会計収支予算

(1)普通預金 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計から繰入
預金利息	15	200	△185	
繰 越 金	2,079,743	1,879,728	200,015	前年度より繰越
計	2,279,758	2,079,928	199,830	

支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
予 備 費	2,279,758	2,079,928	199,830	
計	2,279,758	2,079,928	199,830	

(2)定期預金 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
預金利息	100	100	0	
繰 越 金	500,412	500,306	106	前年度より繰越
計	500,512	500,406	106	

支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
予 備 費	500,512	500,406	106	
計	500,512	500,406	106	

事務局から

毎年「同窓会報」を発行するに当たり、住所不明等で多数の会員に会報が届いていません。会員の皆様で、住所や姓が変わるなど状況に変化があった場合、他の会員も含めて、その状況を事務局までお知らせください。

また、同窓会報の内容は農大ホームページの中の同窓会のページで見ることができます。

会員様の中でホームページを見るから同窓会報の送付を経費節約のために止めていただいて結構と言われる方がおみえになりましたら、送付不要を希望される場合のみ、官製はがきにその旨を書き、住所氏名を記入し、10月31日までに農大事務局にご送付ください。その方のみ次号から送付を止めさせていただきます。

愛知県立農業大学校 同窓会事務局
同窓会長 柴田 隆夫

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1の2
電話 (0564) 51-1601 F A X (0564) 51-4831

会員データについて

愛知県立農業大学校同窓会は株式会社廣済堂へ会誌の発送業務を委託いたします。その際、お預かりする個人情報（個人情報保護法に定める日本の法令その他の規範を遵守して、左記目的の範囲でのみ利用いたします。）

株式会社廣済堂の個人情報取扱について

● いただいた個人情報は、以下の目的で使用いたします。
・ 学校ならびに同窓会からの通信文書および名簿の発送
・ 同窓会が本来目的により活動する場合、必要と思われる作業を進行する際など合法的な目的のために活用する場合
(同窓会側に準じます)

● 提供いただいた個人情報については、株式会社廣済堂情報「コミュニケーション」メディア事業部データベーク（以下弊社）が責任をもつて管理いたします。
● 弊社は、当社が信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。

● ご提供いただいた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。
● 個人情報は原則として本人にかぎり、開示・訂正・削除を求めることができます。